

被表彰者功績

被表彰者 (現職名)	功 績 内 容
<p>まつくら みか (60) (富山市立豊田小学校長)</p> 	<p>平成30年度に着任した富山市立上条小学校では、「豊かな心をもち自ら学び たくましく生きる子供の育成」を学校教育目標として掲げ、創意と活力があり信頼される学校運営に努めた。小規模校のよさを生かし、全校で異学年交流活動を行い、相互に思いやる心を養ったり、立地を生かして保小中交流活動を積極的に行い、学校段階のスムーズな接続を図ったりした。</p> <p>令和5年度に着任した富山市立豊田小学校では、学年主任の学校運営参画意識の向上や教員の授業観や子供観への意識改革を図り、学年主任との懇談や授業改善アンケートの実施等、それぞれの教職員とのかかわりを大切にし、活力と魅力のある学校運営を進めた。</p> <p>令和6年度には、富山県小学校教育研究会会長として、子どもの姿を真摯に受け止め、教師の言葉で語ることが、授業改善と子どもの確かな学びに結び付くという考えに基づき、令和の新たな教育を目指した研究に的確なリーダーシップを発揮し推進している。</p>
<p>いけなが よしこ (59) (富山市立芝園中学校長)</p> 	<p>平成31年度に着任した富山市立月岡中学校では、「学び合い 認め合う学校」を教育目標とし、生徒も教職員も互いのよさを生かして自身がもてる力を発揮できるよう、実態の把握と適切な助言に努めた。1日の学習を振り返り家庭学習の計画を立てる「月岡タイム」を設定し、生徒自らがPDCAサイクルを生み出し主体的に学ぶようになり、学力を向上させた。</p> <p>令和4年度に着任した富山市立芝園中学校では、1年生での人間関係づくりを大切にし、互いの個性を認め合い、協力し合える集団づくりを進めた。行事や学習の場面で異学年交流を意図的に取り入れ、先輩の姿から学ぶ質の高い集団の育成を推進した。</p> <p>令和5・6年度には、富山県小中学校長協会会長として、県内小中学校における課題を整理し、富山県教育委員会と懇談して学校現場の声を届けるなど、労をいとわず尽力した。校長会事業の企画運営や連絡調整を行うとともに、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校運営体制の構築を推進している。</p>
<p>たなか ひろやす 田中 宏育 (59) (富山県立富山中部高等学校長)</p> 	<p>県立呉羽高等学校長、県立魚津高等学校長を経て、令和5年4月、県立富山中部高等学校長に着任した。3校において教育課程の編成や教職員の配置、教育資材の整備・充実、部活動への支援など、さまざまな場面で教育活動の充実に尽力してきた。特に、富山中部高等学校においては、SSHのⅢ期目申請を行うにあたり、Ⅱ期目までの事業の成果を総括し、Ⅲ期目の研究開発課題を「Society 5.0 時代において新しい価値を共創できる文理の枠を超えた科学技術系人材育成プログラムの開発」と定め、Ⅲ期目指定に大きく貢献した。現在も、指定5年間を見通した事業計画の推進に指導力を発揮している。</p> <p>また、令和3、4年度は、富山県高等学校野球連盟会長として、その活動が発展し、充実したものになるように努めた。さらに、令和5、6年度は、富山県高等学校長協会会長、富山県高等学校体育連盟副会長を務め、本県高等学校教育全体の発展・充実に大いに貢献している。</p>